

令和2年度松江市教育委員会点検・評価報告書

<概要版>

松江市教育委員会

令和2年度を振り返って-新型コロナウイルス感染症の影響-



新型コロナウイルス感染症の流行により、教育現場、教育委員会所管の事務事業にも大きな影響が及びました。特に、令和2年4月16日(木)から5月24日(日)までの市立学校の一斉休業、その後も学校行事の中止や規模縮小のほか、様々な公民館事業、そして文化施設のイベントの中止、成人式の延期など、これまで経験したことがない事態が続く1年となりました。学校現場では、感染症拡大防止と子どもたちの学びの保障に最大限努力し、教育委員会の各事務事業も目標達成に向け工夫して取り組みました。

主要事業

pick up!

☆児童生徒1人1台のタブレット端末整備

国のGIGAスクール構想に対応し、令和2年度末までに児童生徒1人1台のタブレット端末を配備(16,178台)、電子黒板の配備(620台)、校内無線LAN環境の整備が実現しました。これらの有効活用が現在の課題であり、教員への研修の充実や、タブレット端末を家に持ち帰って活用していくための規定や手引きの作成など、他自治体の取組も参考にしております。

☆勤務時間管理システムの導入-教職員の働き方改革-

令和2年度には「教職員の働き方改革プラン」を策定するとともに、教職員の勤務時間を客観的に記録し、実態を把握するため、ICTを活用した勤務時間管理システムを各小中義務教育学校へ導入し、令和3年3月から運用を開始しました。教育委員会内や学校業務の見直しなど、教職員の長時間労働の解消に向けた取組を進めていきます。



☆義務教育学校玉湯学園・たまゆ幼稚園の建設

市内2校目の市立義務教育学校である「玉湯学園」(玉湯小学校と大谷小学校が統合し、玉湯中学校とともに移行)、「たまゆ幼稚園」(玉湯幼稚園、大谷幼稚園の2園が統合)、並びに「玉湯児童クラブ」の3施設を建設。ともに令和3年4月に開校、開園、開設しました。

その他の主要な事務事業は次頁に記載しています。詳しい内容は点検・評価報告書をご覧ください。

教育委員会会議

教育委員会会議は、教育長と4名の教育委員で構成されます。
令和2年度は15回の会議を開催し、54件の議案を審議・決定しました。

総合教育会議

～市立学校再開後の状況等を視察・意見交換～

総合教育会議は、市長と教育委員会で構成し、協議・調整をしています。
令和2年度は7月14日(火)に第三中学校と持田小学校にて「市立学校再開後の状況等について」を議題として開催し、新型コロナウイルス感染対策の状況、普通教室に設置したエアコンの効果、電子黒板の活用状況について視察し、意見交換を行いました。



よきよき教育行政のために・・・有識者委員からの意見

事務事業の点検・評価に当たっては、有識者の知見を活用することとなっています。松江市教育委員会では3名の有識者委員を招いて「点検・評価検討会議」を開催し、以下のようにご意見をいただきました。

★こちらは一部抜粋です。報告書に全文を掲載しています。

坂本 和子委員 (まつえ市民活動支援協議会副会長)

「総合教育会議でコロナ禍の子どもの学びの保障について意見交換をしてほしい」

「メディア対策とICT教育推進との更なる連携を求める」

「学校図書館司書の継続配置を希望する」

「子どもの地域参画の機会を学校、公民館等で進めてほしい」

「今後も福祉部局との連携をお願いしたい」

大谷 みどり委員 (島根大学教育学部教職大学院教授)

「子どもが主体的に取り組める授業・学習環境づくりの充実に期待している」

「ICT教育のさらなる研修と活用の充実が求められる」

「教員の多忙化を軽減するための取り組みを評価する」

「島根県が全国的に見て不登校の割合が高い実態があるため、さらなる事業の充実を期待したい」

手銭 淳委員 (山陰中央新報社編集局ニュースセンター一次長兼政経部長)

「小中学校教員の人事権移譲について、市として(新市長・新教育長)の方針を示すべき」

「フルタイム就労の共働き家庭が増える中、子育てしやすい環境作りに向けて何が必要か考えてほしい」

「図書館休館中の代替サービスを検討してほしい。今後も将来的な視点を持った議論を期待したい」

51の主要個別事務事業に取り組みました！

令和2年度に実施した51の主要個別事務事業を点検・評価の対象としました。各事業の計画目標に向けた達成度としては、32事業が順調に推移（下図の各事業名のあとに◎と示した事業<以下、同様>）、12事業が概ね順調（○）、6事業が進捗はやや遅れている（△）、1事業が遅れている（▲）、と評価しました。それぞれの詳しい内容やデータは報告書に記載しています。

人を大切に育てる

I 未来を担う次世代「人財」を育てる

1. 子どもが未来を切り拓くための学力向上対策の推進
 - ・「夢☆未来」学力育成推進事業費（○）、地域とすすめる「松江てらこや」事業費（◎）、ICT活用教育推進事業費（◎）、学校ネットワーク整備事業費（◎）、外国語指導助手（ALT）配置事業費（△）、小学校外国語教育指導協力員派遣事業費（△）、学校図書館司書配置事業費（小学校◎、中学校◎）
2. 望ましい生活習慣の定着、体育・健康教育の充実
 - ・メディア漬けから子どもを守る健全育成事業費（○）、フッ化物洗口事業費（◎）
3. ふるさと教育、キャリア教育の推進
 - ・「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業費（◎）
4. 地域に開かれた学校教育の推進
 - ・小中一貫教育推進事業費（◎）、地域学校協働活動推進事業費（◎）、コミュニティ・スクール推進事業費（◎）
5. 学校給食の充実と食育及び地産地消の推進
 - ・食物アレルギー対応事業費（◎）、学校給食における地産地消の推進（◎）
6. 小中学校の適正配置
 - ・小中学校の適正規模・適正配置（○）
7. 松江市立女子高の魅力化推進
 - ・女子高魅力化事業費（○）
8. 小中学校教員の人事権移譲
 - ・小中学校教員の人事権移譲（▲）
9. 学校における働き方改革
 - ・スクール・サポート・スタッフ配置事業費（○）、勤務時間管理システム運営費（○）、部活動指導員配置事業費（○）、部活動地域指導者活用支援事業費（○）
10. いじめ、不登校の未然防止ときめ細やかな生徒指導の充実
 - ・生徒指導サポート推進事業費（△）、サポートワーカー活用事業費（△）、サポートワーカー活用事業費（スクールソーシャルワーカー）（△）

<電子黒板を活用した授業>



<学校給食1品運動(ごぼうの収穫)>



II 子育て環境日本一の実現

1. 教育、保健、福祉、医療が連携した早期からの発達・教育相談支援体制の充実
 - ・発達・教育相談支援センター運営費（◎）、特別支援教育支援員配置事業費（◎）、特別支援学級介助員配置事業費（◎）
2. 全ての子どもが健やかに生まれ育つ環境整備放課後子ども教室事業費
 - ・児童クラブ運営委託費（◎）、児童クラブ運営補助金（◎）、児童クラブ施設整備事業費（継続費）（◎）、児童クラブ巡回指導員配置事業費（◎）、保育の質の向上のための研修事業費（◎）、就学前教育推進事業費（◎）、（仮称）玉湯統合幼稚園改築事業費（継続費）（◎）

III 自立を支えるセーフティーネットの整備

1. 困難を有する青少年に対する取組
 - ・青少年支援センター運営費（○）

IV 誰もが活躍できる社会の実現

1. 人権が尊重されるまちづくりの推進
 - ・学校人権教育推進事業費（○）、社会人権教育推進事業費（○）

誇りと愛着を生む

V 人材還流と松江暮らしの推進

1. 生涯学習の推進
 - ・公民館管理費（◎）、総合文化センター整備費（○）、出雲かんべの里整備事業費（◎）
2. 市民が利用しやすい図書館づくり
 - ・中央図書館運営費（△）

VI 安全に安心して生活できる環境づくり

1. 公民館の整備
 - ・公民館施設改修事業費（◎）

安心・安全なまちづくり

VII 今ある社会資本の活用と必要な社会資本の整備

1. 児童生徒のための良好な学校環境整備の推進
 - ・玉湯統合小学校整備事業（◎）、非構造部材耐震対策事業費（小学校◎、中学校◎）、学校給食センター整備費（北給食センター◎、西給食センター◎、宍道給食センター◎）

